

2023年12月1日
実施報告

午前の部 参加校

59人の児童の皆さんにご参加いただきました！

【愛知県】豊橋市立高山小学校	5年生	9人
【東京都】御蔵島村立御蔵島小学校	5・6年生	7人
【京都府】京都市立上里小学校	5年生	21人
【愛知県】幸田町立荻谷小学校	5年生	22人



午後の部 参加校

84人の児童の皆さんにご参加いただきました！

【北海道】豊頃町立豊頃小学校	5年生	13人
【神奈川県】川崎市立新城小学校	6年生	27人
【京都府】京都市立上里小学校	5年生	23人
【愛知県】幸田町立荻谷小学校	5年生	21人



参加校の先生より

- ・色々な意見、価値観に触れることができました。送り手側と受け手側の両方について考えるよいきっかけになりました。流れる情報がすべてではないという大切なことについて考えられたと思います。
- ・自分とは異なる意見をもつ児童同士が伝え合うことで、多様な見方ができるようになると思いました。情報の「受け手」であることが多い児童にとって、「送り手」のことも考える必要があることを学んだと思います。
- ・メディア・リテラシーはこれからの社会を生きる児童にとって不可欠な力であるにも関わらず、なかなか教材化が難しい印象でした。教室で扱っていただいた事例も、SNSにふれる機会が多くなった児童たちにとって身近な問題だと感じました。
- ・色々な学校の児童たちと一緒に学習をして、様々な考えや環境があることを肌で体験できました。児童が日常的に接しているCMや画像加工を扱うことで、情報の受け手や、これからなるであろう送り手について、興味を持って考えを深めることができました。
- ・子どもたちが他校の様子を知り、刺激を受けていたことが特に良かったと思います。画像加工は今の時代を生きる子どもたちに身近であり、今後情報を発信する側として、考える手立てになると思いました。
- ・受け手・送り手の立場に立ち、どのようなことに気を付けるとよいか学ぶことができていました。各校の紹介等もそれぞれの特色が出ていて、とても興味深そうでした。



参加児童へのアンケートより

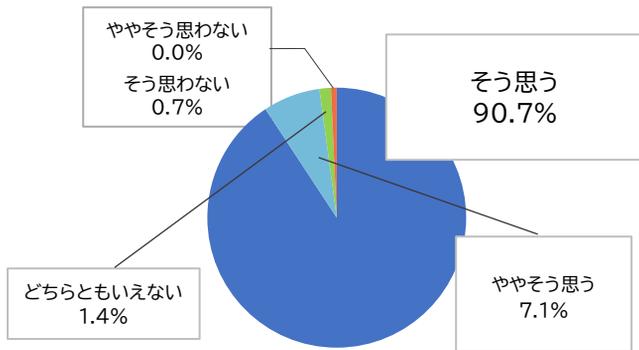
学んだこと

- ・人それぞれ考え方が違うということが大切だと思いました。
- ・目的に合わせて、加工したほうがいいのか、しなくていいのか、判断が大切。
- ・ネットの情報をすぐに信用せず、編集や加工について考える。送り手の意図を考えてみる。

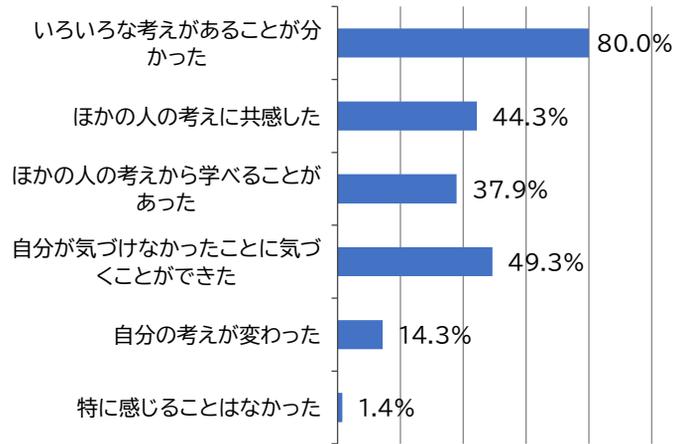
これから生かそうと思うこと

- ・(送り手として)受け手がどんなふうを考えるか想像する。
- ・加工などするのは自由だけど、人に迷惑をかけないように注意する。
- ・情報を受け取るとき、編集されていることや、アップやルーズにされていることを理解する。

Q.この教室は楽しかったですか。



Q.ほかの学校の発表を聞いて、
どんなことを感じましたか。(複数回答可)



進行役・大橋 拓アナウンサーより

参加してくれた皆さんが、ときには難しいかな?と思うような問いかけにも一生懸命考えてくれたり、教室での学びを「〇〇ということが勉強になった」と自分の言葉で発表してくれたり嬉しかったです。今回の教室ではたくさんの意見がありました。同じ物事でも人によって受け止め方が違う、ということも伝わったのではないかと思います。ぜひ今後の「受け手」「送り手」としての行動にも生かしてもらえたらと思います。

